

ブランクの意味になることから「`ロロ`」が印字される。

下は、そのトレースしたものである。

```
( I B      )          0
*      0. 2509820E  00

          0
```

つぎの例をみよう。

```
*** SOURCE LIST ***
ISN      STATEMENT
1  C      *****EX 2 *****
2          DATA A/4H*      /
3          NA=A
4          WRITE (6,600) A, A
5      600  FORMAT (1 H 0 ,20X ,A4
              ,A4,5X ,E15.7)
7      601  FORMAT (1 H 0 ,//21X ,
              ,A2,7X ,15)
8          STOP
9          END
```

ダンプすると実数型の「A」には  
5 C 4 0 4 0 4 0

これを2進でしめすと

```
      2 8      仮数部
      ┌───┬───┴───┐
0101 1100 0100 0000
0100 0000 0100 0000
```

したがって

$$(0.404040)_{16} * 16^{28}$$

$$= (404040)_{16} * 16^{22}$$

これを10進に直しながら、そして「 $16^{22}$ 」を概算してみると

$$4 \times 16^5 + 4 \times 16^3 + 4 \times 16^1 = \log x = \log 16^{22}$$

$$4 \ 1 \ 9 \ 4 \ 3 \ 0 \ 4 \quad \text{より}$$

$$1 \ 6 \ 3 \ 8 \ 4 \quad (= 3.09478$$

$$+ ) \quad 6 \ 4 \quad * 10^{26})$$


---


$$4 \ 2 \ 1 \ 0 \ 7 \ 5 \ 2 \ * 3.09478 * 10^{26}$$

$$= 13031351 * 10^{26}$$

$$= 0.13031 * 10^{34}$$

となるから、もし「NA」をIタイプで印字させようとすると、センター機械の整数値上限

(= 3 2 7 6 7)

をはるかにオーバーしていることが

( $*10^{34}$ )

によってわかる。

でも一応トレースしてみると下表のようになっていた。

ERROR 4070 (CONTINUE)

```
( NA      )          3 2 7 6 7
*      0.1303165 E 34
"      32767
```

傍線のように「4070 (固定小数点オーバー・フロー)」のエラー・メッセージをはき出している。

そして、つぎの傍線にあるように「NA」には自動的に「3 2 7 6 7」が格納されていることになっているので、もしも「NA」を「A 2」で印字させると、3 2 7 6 7は2進でつぎのようになるから

0111 1111 1111 1111

これを16進にしてみると

7 F F F

となる。

表1によってどのような意味づけのコードかをあたってみると

7 F "

F F (表にない、したがってブランク)

ということで、ラインプリンタ上は「`ロロ`」という妙なものが印字されてくる。

常にかわらない2進表示を16進化→表1→Aタイプ、としたときと、2進→10進数でみるときとでは大きな相違があるのである。

不可解な結果をえたときはコア・ダンプと16進の理解をもって、その原因の究明にあたることはプログラマーの常識かもしれない。

(担当者 金 沢 義 夫)